

沖縄発の技術でサモアの環境保全に貢献！

－ ヤシ繊維で濁水処理対策に挑む －

国際協力機構(JICA)は、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社南西環境研究所(沖縄県西原町、代表取締役 田中順一)と株式会社ウエスコットウエスト(東京都中野区、代表取締役 塩田淳二)が提案する「ヤシ繊維を活用した濁水処理対策に関する案件化調査」(対象国サモア独立国)を採択しました。

サモア国では森林伐採等の環境・生態系問題や気候変動に伴う自然災害リスクの深刻化に伴い、環境保全の必要性が高まっています。株式会社南西環境研究所と株式会社ウエスコットウエストが本事業で提案する天然ヤシ繊維素材の「バイオログフィルター」は、沖縄の赤土等流出による沿岸域の環境悪化防止を目的として開発され、濁水中の土粒子を効果的に補足する濁度低減・水質改善資材、自然植生の回復を促す緑化材、流木捕捉や土壌流失を防ぐ浸食防止材として、幅広い用途において水源域の環境保全に活用が期待されます。

同社は提案製品を用いてサモア国の陸域から沿岸域にわたる総合的な環境保全対策を行うことにより、水源域の涵養能力・生物多様性の向上、濁水の影響を受けやすい沿岸部のサンゴ礁生態系の保全を目指します。

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012 年度から実施されており、2015 年度第 2 回分は昨年 9 月に公示を行いました。120 件の応募のうち 34 件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)案件化調査 2015 年度第 2 回公示の採択結果について

URL:<http://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/index.html>



バイオログフィルター(写真:南西環境研究所)

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 沖縄国際センター 民間連携担当 照屋りか、尾藤翔子
TEL 098-876-6000 e-mail: jicaaic-psp@jica.go.jp